

医療の情報化・国際化

責任者名：中島 一郎

学期：前期

対象学年：6年

授業形式等：演習

◆担当教員

中島 一郎(医療人間科学 教授)

本田 和也(歯科放射線学 教授)

網干 博文(法医学 特任教授)

萩原 芳幸(歯科補綴学Ⅱ 教授)

高見澤 俊樹(歯科保存学Ⅰ 准教授)

田中 一(感染症免疫学 兼任講師)

江島 堅一郎(歯科放射線学 専任講師)

上原 任(医療人間科学 専任講師)

野村 眞弓(医療人間科学 兼任講師)

宗像 雄(医療人間科学 兼任講師)

好士 亮介(医療人間科学 専任講師)

◆一般目標 (GIO)

医療の国際化・情報化時代における国際保健，医療活動，医療教育・情報管理について学び，持続可能な保健医療活動の基本的考え方を身につける。

◆到達目標 (SBOs)

- ・国際保健医療活動の各アプローチを述べるができる。
- ・医療安全の基本的な概念を説明できる。
- ・保健医療統計データから保健医療の状況を説明できる。
- ・主な保健医療統計指標について説明できる。
- ・保健医療状況の調査方法と統計的分析法を説明できる。
- ・Sustainable Developmental Goals (SDGs) について説明できる。
- ・保健医療情報の利用と管理方法を説明できる

◆評価方法

各授業時間内の課題レポート(30%)、授業最終日の振り返り(20%)と定期試験(50%)によって評価します。

課題レポートでは日々の学修態度を評価します。授業内容から key words を提示し、100字～150字程度の文章にまとめて提出します。

次週の授業回でレポート内容に関するフィードバックを行い理解を深めていきます。

振り返りは15週分の学修到達度を評価するために実施するものです。課題提示(事例)を行い、問題抽出、解釈および問題解決の提案の各過程を記述します。

定期試験では、基礎事項の想起、症例・事案に対する問題解決能力を評価します。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
中島 一郎	月曜日 17:00~18:00・教授室	nakajima.ichirou@nihon-u.ac.jp	
本田 和也	月曜日 17:00~18:00・教授室	honda.kazuya@nihon-u.ac.jp	
網干 博文	授業終了直後に質問を受け付ける。	aboshi.hirofumi@nihon-u.ac.jp	
萩原 芳幸	授業終了直後に質問を受け付ける。	hagiwara.shigeyuki@nihon-u.ac.jp	
高見澤 俊樹	月曜日 17:00~18:00・歯科保存学 I 研究室	takamizawa.toshiki@nihon-u.ac.jp	
田中 一	月曜日 17:00~18:00 細菌学講座 研究室	tanaka.hajime@nihon-u.ac.jp	
江島 堅一郎	月曜日 17:00~18:00・歯科放射線学研究室	ejima.ken-ichiro@nihon-u.ac.jp	
上原 任	月曜日 17:00~18:00 医療人間科学研究室	uehara.tamotsu@nihon-u.ac.jp	
野村 眞弓	授業終了直後に質問を受け付ける。		
宗像 雄	授業終了後に質問を受け付ける。		

◆授業の方法

国際保健医療分野からの課題を提供し、問題の所在、解釈および問題解決方法について多様な観点から考えていく授業を行います。各授業では、保健医療に関する演習問題を提示します。これらは国際社会における歯科医療の在り方について認識を深める内容となっています。

【実務経験】

中島一郎：離島診療における研修医の育成や発展途上国における医学教育支援プロジェクトにおいてマネージャーとして従事した経験を活かして、医療格差などの問題解決のアプローチについて様々な観点から考える方法について学生の皆さんと理解を深めていきたいと思っております。

本田和也：JICAの専門家として発展途上国における病院建設や現地の大学教育に尽力した警官から、国際協力の仕組みについてわかりやすく講義をします。

網干博文：海外における災害時での死亡者の身元確認を国際チームとして活動する日本側の専門家の経験から、日

本の国際貢献の在り方について講義をします。

萩原芳幸：本学附属病院で専門診療に従事するとともに、日本からの歯科医師の海外留学の促進について国内外の大学関係者と連携されています。授業では海外で専門医取得、学生、研究者となる為に必要な基礎知識を学びます。

高見澤俊樹：大学教員として勤務するとともに、東京都の島しょ地区の診療や口腔保健の運営を担当している。離島・僻地医療の医療供給体制の問題点や、その解決方法など人材育成支援の立場から授業を担当します。

田中 一：細菌学の教育研究者として、新型コロナウイルス感染症などの新興感染症の知見について解説します。歯科臨床における感染予防、医療安全の在り方について細菌学の分野から詳細に解説します。

江島堅一郎：歯科医として数少ない遠隔医療・遠隔画像診断分野の専門家であり、本学附属病院における遠隔画像診断を担っています。また国際協力として発展途上国や離島の遠隔医療システムの構築実績があり、これら実践例を通じて遠隔医療の基礎と実践例について学びます。

上原 任：医療情報を扱う実務経験をもとに、歯科医師に求められる個人、医療情報管理等の法的な背景や実践例について講義をします。とりわけカルテ情報に対する医療機関における対応の在り方について理解を深めます。

野村真弓：長年にわたり医療経済の問題点や解決方法について研究をしています。国内外の医療環境の実態調査やワークショップ・セミナーを通じ、医療に係る問題を解決できる人材育成に貢献しています。授業では、海外の歯科医療モデルについて事例からわかりやすい講義を担当します。

◆アクティブ・ラーニング

第5学年の臨床実習を通じて、歯科医師としての知識、技能、態度を修得したうえで、あらためて今日の歯科医療の直面する課題について多様な観点から考えるスキルを養います。各授業は演習形式であり、課題の解釈と問題解決について討議を行います。各学年の医療人間科学や臨床教育で修得した知識をどのように活用するのかケース・スタディ形式のもとで行います。卒前教育としての最後の「医療行動科学」の授業に位置づけられる教科です。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
プリント配布				

◆DP・CP

DP 2 コンピテンス：世界の現状を理解し、説明する力

コンピテンス：国際社会の現状と背景を理解し、地域社会における医療・保健・福祉の役割が説明できる。

DP 3 コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンス：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

DP 4 コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンス：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

DP 5 コンピテンス：挑戦力

コンピテンス：新たな課題の解決策を見出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

DP 8 コンピテンス：省察力

コンピテンス：プロフェSSIONALとして生涯にわたり、振り返りを通じて基礎・臨床・社会歯科領域において自らを高めることができる。

CP2 国内外の医療・保健・福祉の現状を理解し、基礎・臨床・社会医学の知識を基に、国際社会で活躍できる

基本的能力を育成する。

CP3 幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的な思考力と総合的な判断能力を育成する。

CP4 歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

CP5 研究で明らかとなる新たな知見と研究マインドを基に、歯科医学の課題に挑戦する学生を育成する。

CP8 各学年における学修で得た歯科医学の知識、技術および省察力をもとに、歯科医師として生涯にわたり学修する姿勢を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

各授業終了後に次回の授業の Key Word を提示するので準備学習してくること。

◆準備学習時間

各々授業時間半分相当を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

歯科医学序論Ⅰ（医療人間科学Ⅰ）、歯科医学序論Ⅱ（医療人間科学Ⅱ）、医療と倫理（医療人間科学Ⅲ）、プロフェッショナリズムと行動科学（医療人間科学Ⅳ）、医療と福祉（医療人間科学Ⅴ）、医療コミュニケーション（医療人間科学Ⅶ）、医療面接（医療人間科学Ⅷ）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		5.11	5	【対面】 1. 医療の情報化・国際化の背景 1) 医療格差	・国際社会における医療格差の概念について学ぶ。 ・医療の情報化は、地域社会や国家をどのように変化をさせてきたかを理解する。 ・国際的保健医療学とは何かについて理解する。	中島 一郎 好士 亮介	A-7-1) 地域医療への貢献
2		5.11	6	【対面】 1. 医療の情報化・国際化の背景 2) 日本の医療	・医療行為は患者と医療従事者との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを理解する。 ・日本式医療の持続可能性から医療従事者の行動規範を考える。	宗像 雄	A-7-1) 地域医療への貢献
3		5.18	5	【対面】 2. 国際協力とは 1) 国際保健医療システム 2) 保健医療戦略	・国際保健医療の仕組みを理解する。 ・国際協力における諸問題点について学ぶ。	中島 一郎	A-7-2) 国際医療への貢献

4		5.18	6	<p>【対面】</p> <p>2. 国際協力とは</p> <p>3) 日本医療のSDGs</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療が国際化するなかで、日本の医療の在り方について Sustainable Development Goals(SDGs)の観点から学ぶ。 ・人口減少社会における歯科医療をどのように持続可能にするのか事例から学ぶ。 	中島 一郎	A-7-2) 国際医療への貢献
5		5.20	5	<p>【対面】</p> <p>3. 国際保健医療</p> <p>1)プライマリヘルスケア</p> <p>2)ヘルスプロモーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プライマリヘルス・ケアの意義について活動事例から学ぶ。 ・ヘルスプロモーションの概念について国際的保健医療の側面から理解する。 ・保健医療分野活動のPDCAサイクルについて事例を通じて学ぶ。 ・国際保健医療支援におけるプロジェクトの計画の立案方法と実施活動について学ぶ。 	中島 一郎	A-7-2) 国際医療への貢献
6		5.20	6	<p>【対面】</p> <p>3. 国際保健医療</p> <p>3)プロジェクト・マネージメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ JICA の医療専門家の援助活動について知る。 ・スリランカでの活動事例を通して、医療援助の在り方や今後について理解を深める。 	本田 和也	A-7-2) 国際医療への貢献
7		5.25	5	<p>【対面】</p> <p>3. 国際保健医療</p> <p>4) 新興感染症</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新興感染症の概要について理解する。 	田中 一	A-7-2) 国際医療への貢献
8		5.25	6	<p>【対面】</p> <p>3. 国際保健医療</p> <p>5) 院内感染</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Covid 19の院内感染の基本対策を学ぶ。 ・歯科診療における感染対策の意義を理解する。 	田中 一	A-7-2) 国際医療への貢献

9		5.27	5	【対面】 3. 国際保健医療 6) 根拠に基づく 医療（EBM）の意 義	・ 途上国における EBM の考え方を普及する意義について教育支援事例を通じて学ぶ。	中島 一郎	B-4-1) 歯科疾患の疫学
10		5.27	6	【対面】 3. 国際保健医療 7) 保健医療統計	・ 国際的な保健医療分野での医療統計の基礎知識について学ぶ。 ・ 保健医療統計データの解釈について演習を通じて理解する。	中島 一郎	B-4-1) 歯科疾患の疫学
11		6.1	5	【対面】 3. 国際保健医療 8) 離島へき地医療	・ 日本国内における僻地・離島における医療活動の在り方について事例を通じて理解する。 ・ 地域医療の運用に求められる法的な基礎知識について理解する。	高見澤 俊樹	A-7-1) 地域医療への貢献
12		6.1	6	【対面】 3. 国際保健医療 9) 国内の離島へき地医療	・ 日本国内における医療資源の不平等（僻地・離島を含む）について知る。 ・ 離島における住民の健康問題の解決の在り方について理解する。	中島 一郎	A-7-1) 地域医療への貢献
13		6.3	5	【対面】 3. 国際保健医療 10) 災害時医療	・ 国際協力における災害時医療について学ぶ。 ・ 国際保健医療における連携の事例から歯科分野に求められる社会ニーズについて学ぶ。	網干 博文	A-7-2) 国際医療への貢献
14		6.3	6	【対面】 3. 国際保健医療 11) 支援活動の事例	・ 保健分野の国際支援体制の在り方を理解する。 ・ 持続可能な保健医療分野での人材育成の意義について理解する。	中島 一郎	A-7-2) 国際医療への貢献
15		6.8	5	【対面】 4. 医療情報 1) 患者情報の管理	・ 医療情報の管理の在り方について理解する。 ・ 医療情報の開示について理解する。	上原 任	B-4-3) 保健医療情報

16		6.8	6	【対面】 4. 医療情報 2) 医療情報と個人情報保護法	・個人情報の保護に関する法律の概要について理解する。	上原 任	B-4-3)保健医療情報
17		6.10	5	【対面】 4. 医療情報 3)診療情報の保存	・診療情報の保存に関する規定を理解する。	上原 任	B-4-3)保健医療情報
18		6.10	6	【対面】 4. 医療情報 4)医療情報システムの概要	・医療情報システムの概要について理解する。 ・医療情報システムに蓄積される情報の特性について理解する。	上原 任	B-4-3)保健医療情報
19		6.15	5	【対面】 4. 医療情報 5) 個人番号制度	・個人番号制度の医療分野への応用の可能性と現状について理解する	上原 任	B-4-3)保健医療情報
20		6.15	6	【対面】 4. 医療情報 6)AI	・畳み込みニューラルネットワークとバックプロパゲーションを特徴とする新世代の AI の概要を理解する。 ・教師あり学習／教師なし学習、強い AI／弱い AI について理解する	上原 任	B-4-3)保健医療情報
21		6.21	7	【対面】 4. 医療情報 7)遠隔医療システム	・遠隔医療システムの概要について学ぶ。 ・高齢化社会を迎えた日本における遠隔医療システムの地域医療での役割について学ぶ。	江島 堅一郎	B-4-3)保健医療情報

22		6.21	8	<p>【対面】</p> <p>4. 医療情報</p> <p>8)国際協力での遠隔医療システムの活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会を迎えた日本における遠隔医療システムの地域医療での役割について学ぶ。 ・途上国の医療支援での遠隔医療システムの導入効果について学ぶ。 ・情報通信技術の発達に伴う、オンライン診療についての基礎知識を身につける。 	江島 堅一郎	B-4-3)保健医療情報
23		6.22	5	<p>【対面】</p> <p>5. 歯科医学教育の国際化</p> <p>1) 海外の歯学教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海外での留学事情について学び、卒業研修終了後のキャリア教育の在り方について理解する。 ・欧米諸国の歯学教育と歯科医療現場での教育について、わが国の現状との差異を知る。 	萩原 芳幸	A-7-2) 国際医療への貢献
24		6.22	6	<p>【対面】</p> <p>5. 歯科医学教育の国際化</p> <p>2) 欧米での歯学教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯学教育のグローバル化している現状について理解する。 ・国際社会における医学・歯学教育の質保証の在り方について理解する。 	中島 一郎	A-7-2) 国際医療への貢献
25		6.29	5	<p>【対面】</p> <p>5. 歯科医学教育の国際化</p> <p>3) 国際交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療系大学間における国際交流の必要性について理解する。 ・海外における医療制度の現状を学び、日本の保健医療制度の持続可能な発展について教育制度から考える。 	中島 一郎	A-7-2) 国際医療への貢献
26		6.29	6	<p>【対面】</p> <p>5. 歯科医学教育の国際化</p> <p>4) 保健医療分野での人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・途上国への医学・歯学教育支援の事例から人材育成の在り方を考える。 ・途上国における人材育成を持続可能とするための諸問題点について学び、国際教育支援の在り方について理解する。 	中島 一郎	A-7-2) 国際医療への貢献

27		7.5	2	<p>【対面】</p> <p>6. 医療の国際化</p> <p>1)医療の社会環境変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の国際化について、社会経済的な視点から理解する。 ・医療の社会環境変化の問題点について演習を通じて学ぶ。 	野村 眞弓	A-7-1) 地域医療への貢献
28		7.5	3	<p>【対面】</p> <p>6. 医療の国際化</p> <p>2) 海外の歯科保健医療 の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア地域の歯科保健医療サービスの動向を学ぶ。 ・海外で歯科医業を行うための基本知識を学ぶ。 	野村 眞弓	A-7-1) 地域医療への貢献
29		7.6	5	<p>【対面】</p> <p>7. 医療の情報化・国際化</p> <p>1)医療環境変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療格差・健康格差の問題解決方法について振り返り（成績の20%）を通じて理解する。 ・歯科医療における診療報酬の問題点について学ぶ。 	中島 一郎 好士 亮介	A-7-1) 地域医療への貢献
30		7.6	6	<p>【対面】</p> <p>7. 医療の情報化・国際化</p> <p>2) 医療人に求められる資質</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の医療の在り方について演習を通じて考える。 ・国際化時代の医療人に求められる資質について考える。 	中島 一郎 好士 亮介	A-7-1) 地域医療への貢献

